

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

| |
|---------------------|
| 特定非営利活動法人 旅人とたいようの会 |
|---------------------|

②施設・事業所情報

| | |
|---------------------------|---|
| 名称：デイサービス ママーズ駒塚 | 種別：通所介護事業所 |
| 代表者氏名：施設長 福井 千世 | 定員（利用人数）： 25 名 |
| 所在地：岐阜県羽島市竹鼻町駒塚1043番地 | |
| TEL：058-394-3366 | ホームページ： http://hashimakikaku.com/ |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：平成18年7月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 羽島企画 | |
| 職員数 | 常勤職員： 5名 非常勤職員 13名 |
| 専門職員 | （専門職の名称） 名 機能訓練指導員 3名 |
| | 介護福祉士 5名 初任者研修 3名 |
| | 准看護師 4名 ヘルパー2級 3名 |
| 施設・設備 の概要 | （居室数）居間・食堂 1室 （設備等）ホール 1室 |
| | 食堂・機能訓練室 2室 浴室 1室 |
| | 静養室 2室 脱衣室 1室 |
| | 相談室 1室 リネン庫 1室 |
| | 事務室 1室 トイレ 3室 |

③理念・基本方針（※転載）

寄り添う介護 思いやりをカタチに・・・

- ・ 私たちは、人として利用者さまの思いを受け止め
 どんなときも寄り添う気持ちを忘れません
- ・ 私たちは、夢を語りそれを実現するために
 新しい可能性にチャレンジし、一步一步カタチにし続けます
- ・ 私たちは、地域の福祉を支えるチカラとなり
 社会的責任を自覚し、社業の発展に全力を尽くします。

一日を楽しく穏やかに過ごせる居場所

「私のやりたいことがあるから行きたい」と
生きがいを見つけられるデイサービスです。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

家庭的な雰囲気の中で希望に合わせた個別のレクリエーションを提案し、生活リハビリと共に脳の活性化を促がし、事業所に通所することが生きがいにもつながるように、ボランティアを活用し様々な体験活動を取り入れている。

医療行為が必要である人や心身機能が著しく低下し日常生活全般に介護が必要な人であっても、身体機能の維持向上や認知症の進行防止に向けて、家族や関係機関と協力しながら、在宅での生活が少しでも継続できるように、広範囲のエリアを対象にサービス提供時間も柔軟に対応している。

本社に属する系列事業所で組織化してある研究会が中心となり、職員の資質向上に向けて各種委員会活動や内部研修を継続的に実施している。子育て中の女性職員も多く子連れ勤務や研修も可とし、職員の家庭環境にも配慮し、働きやすく継続して働き続けられる職場環境に努めている。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 平成 30 年 8 月 27 日（契約日） ～ 平成 31 年 1 月 8 日（評価結果確定日） |
| 受審回数(前回の受審時期) | 0 回（平成 - 年度） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

年間の行事計画に合わせて毎月のレクカレンダーを作成し、利用者が笑顔で楽しみを持って通所できる働きかけをしている。季節行事のイベントを始め、ボランティアの協力も得て体操、音楽、手芸、書道、絵画等と動的活動や静的活動を交え、個々の希望や心身能力に合わせて幅広いレクリエーション活動を提供している。

サービスの開始前後から噴出しやすい困難事例については、市・包括支援センター及びケアマネジャーとも情報を共有し、在宅での生活の継続を目指し様々な関係機関と連携し、事業所所在地から遠方の利用者であっても、本人や家族の意向も尊重してより良い方策を協議し支援している。

各種のサービスを提供する系列職員とも切磋琢磨しながら、各種委員会活動や継続的な内部研修にて学びを深め、特に接遇面には配慮し挨拶や身だしなみまでを注意し、更なる進展とサービスの質の向上に向けて前向きに取り組んでいる。毎月、医師からワンポイント医療講座として、高齢者に多い疾病や感染症等についても理解を深めている。

本社として子育て支援エクセレント企業の認定及び介護人材育成事業者グレード2の認定を受けており、女性職員も多く職員の家庭環境にも配慮し、継続して働き続けられるような職場にしている。職員の得意な分野を活かしながら、利用者の笑顔につながる支援をしている。

プライバシーを大切にされたケアに心がけ、身体状態により入浴順に配慮し、その人のプライドが傷つかないようにしている。介護の原点に立ち戻り不適切ケアとして、個々の職員が振り返る機会から一歩前進できるケアにつなぐサービスに向けて、施設長自らも前向きに取り組んでいる。

◇改善を求められる点

本社に属する系列事業所は同一の理念とし、職員には目指す方向や考え方を書面にて説明しているが、ホームページや運営規程等にも掲載がされていない為、家族も含めた様々な人に対して事業所の基本方針の周知にも努力されたい。

本社として社会情勢も加味しつつ中長期を見据え、計画を模索し上部会議にて協議はしているが、書面に落とし込んだ計画までには至っていない。より質の高いサービスの提供や経営課題の改善に向けて、将来を見据えた目標を定めて、中長期計画を見える化し、具体的に実現できる計画の策定が望まれる。

日常生活全般に介護が必要な重度の人も積極的に受け入れ、在宅での生活が少しでも継続できるように、広範囲のエリアを対象にしてケアマネジャーからの情報は得ているが、それぞれの市町のニーズ把握までには至っていない。サービスの特性を活かした地域への関わり方も考慮されたい。

利用者満足度に対する調査や把握ができておらず、より質の高いサービスの提供に向けて、定期的に調査や個別面談ができるように、利用者会や家族会を作り満足度に対する検討会を設置していく等の対策も考慮されたい。サービスの到達度を評価するモニタリングを取り入れるなどの工夫も望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受け、とても参考になり、サービスの確認と見直しを行う事ができました。評価員様には当施設の強みを引出し改善する点は適格なご指導いただき、ありがとうございました。

改善点については十分に検討を行い取り組み、会社の理念である「寄り添う介護 思いやりをカタチに」を常に意識し、より良いサービスを目指します。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。